

事務局から

▼退職後、縁あって教育研究所にお世話になり、その間12年間事務局長を務めさせてもらいました。2017年9月に開かれた総会で、新しい事務局長として和澄利男さんが指名・承認され、交代することとなりました。しかし事務局長は交代しましたが、所員として残りますので、今後ともよろしくお願い致します。

(内山)

▼総会議案書や通信で、度々訴えてきましたが、今、にいがた県民教育研究所は、会員減に伴い、来年度以降、従来のような研究所の維持や本誌発行の継続が危ぶまれる状況にあります。厳しい状況下ですが、研究所の灯をともし続けようと、所員一同知恵を絞り、いろいろと検討を続けています。その第一歩として、「教育カフェ」を始めました。

▼困難な状況を克服するためには、今後とも、会員の皆さんの協力・援助が不可欠です。よろしくお願いします。

(和澄)

編集後記

▼本号編集中に下記の記事がありました。

「文科省は、教員養成課程の道徳関連科目を担当する教員については、実際の道徳の授業を扱った論文がない教員は認めない方向に動いている。そうなると、道徳の新学習指導要領の理念・方針だけを学生に教え込む結果になり、教育の自由、学問の自由を否定する憲法違反だ」(しんぶん赤旗11月21日)

教員統制の始まりでないでしょうか。

▼本号の特集は「道徳が『特別の教科 道徳』になる」です。「特別の教科 道徳」の『特別』とは、道徳を『筆頭教科』にして他の全教科の上におき、道徳によつてすべての教科を統制する役割をさせる。戦前の『修身』の復活といつても過言でない」との指摘があります。俵義文さん、西伸さんの論文から、そのことがうかがわれます。

▼来年度は中学校の道徳教科書が採択される年です。どんな教科書が発行されるか注目したい。

(和澄)

▼本年も三回、本誌を発行することができました。これもひとえに、ご執筆いただいた方がたや読者のみなさまのご協力のお蔭です。心より厚くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

▼今年も残すところあとわずかになりました。毎年のことながら、年末はことに、時の流れを早く感じます。

「去年今年貫く棒の如きもの」(高浜虚子)どうぞよいお年を。

(小野塚)

にいがたの教育情報 No. 125

2017年12月25日発行

編集・発行 にいがた県民教育研究所
発行人 小林 昭三
〒951-8116
新潟市中央区東中通1-86 山崎ビル
電話・FAX (025)228-2924
振替口座・00640-0-12332
Eメール kyoiku@triton.ocn.ne.jp
印刷所・神林印刷
TEL 0254-66-7959

本誌内容の無断転載を禁じます。